

ぐんま版消費者教育教材

2 群馬県内の消費生活相談

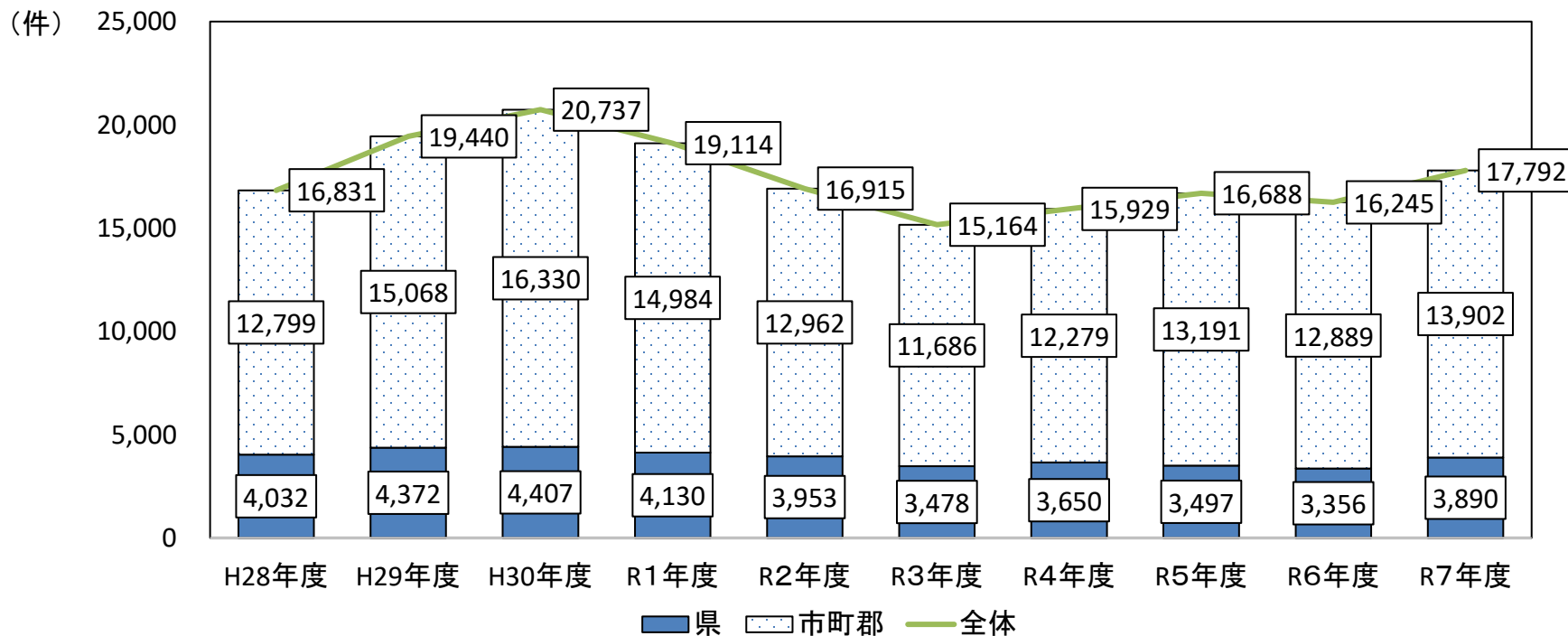
群馬県 生活こども部 消費生活課
令和8年9月改訂

令和7年度 群馬県内の消費生活相談の概要

◎年度別相談件数の推移

* 令和7年度相談件数 対前年度比: 109.5%

	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和7年度
県	4,032	4,372	4,407	4,130	3,953	3,478	3,650	3,497	3,356	3,890
市町村	12,799	15,068	16,330	14,984	12,962	11,686	12,279	13,191	12,889	13,902
全体	16,831	19,440	20,737	19,114	16,915	15,164	15,929	16,688	16,245	17,792



令和7年度 群馬県内の消費生活相談の概要

◎相談件数の多い商品・サービス 上位10

順位	商品・サービス大分類	商品・サービスの主な内容	相談件数
1位	商品一般	対象商品が不明な請求など	2,123件
2位	運輸・通信サービス	光回線、携帯電話、スマートフォンなど	1,647件
3位	金融・保険サービス	フリーローン・消費者金融、クレジットカード、FX取引ツール、暗号資産など詐欺的な投資など	1,460件
4位	保健衛生品	シャンプー、美容液、化粧品、水虫薬の定期購入など	1,386件
5位	他の役務	副業サポート、生活レスキュー、火災保険申請サポート、求人広告、PC偽警告、給湯器の点検など	1,333件
6位	教養娯楽品	新聞、スマートフォン、腕時計、電子たばこなど	1,071件
7位	食料品	健康食品・サプリメントの定期購入、海産物など	1,062件
8位	教養・娯楽サービス	アダルトサイト、出会い系、オンラインゲームなど	943件
9位	保健・福祉サービス	脱毛エステ、痩身エステ、美容医療など	906件
10位	被服品	バッグ、洋服、靴、財布など	858件

令和7年度 群馬県内の消費生活相談の概要

◎年代別の相談件数

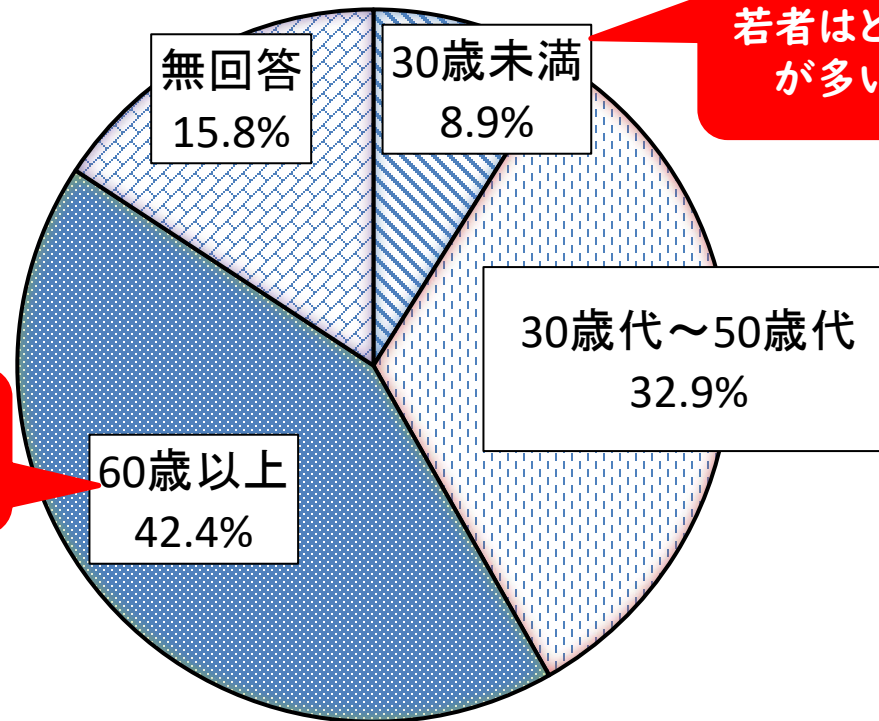
全体の相談件数 17,792件

高齢者の相談（60歳以上） 相談件数：7,551件 割合：42.4%

若者の相談（30歳未満） 相談件数：1,586件 割合：8.9%

※統計の都合上「高齢者」を60歳以上としています。

相談割合



若者はどんな相談が多いのか？

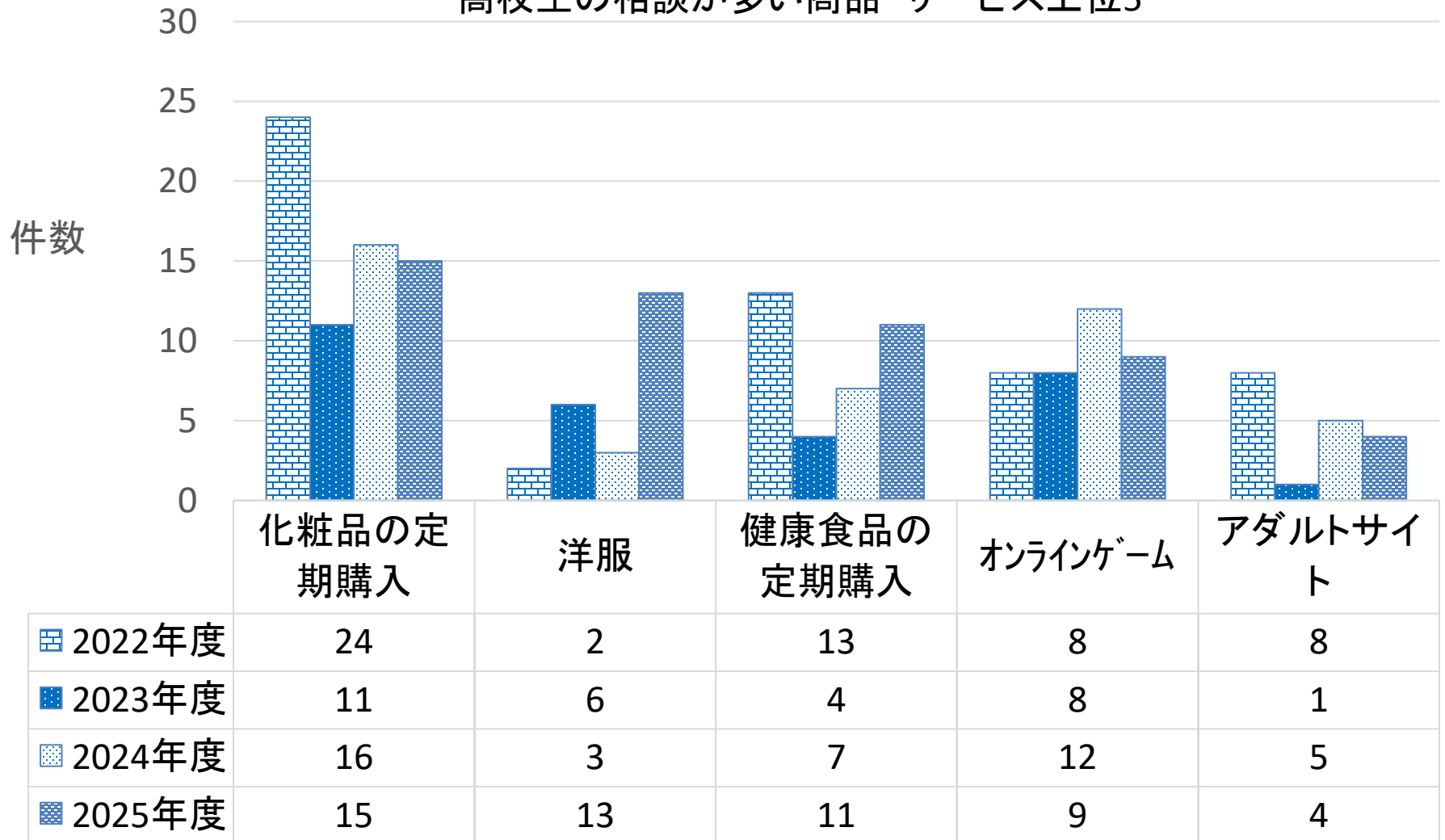
高齢者は不審なメールやSMSなどの相談が多い

高校生の相談の傾向

群馬県内の高校生の相談に多い商品・サービスの上位5位（令和7年度を基準として）

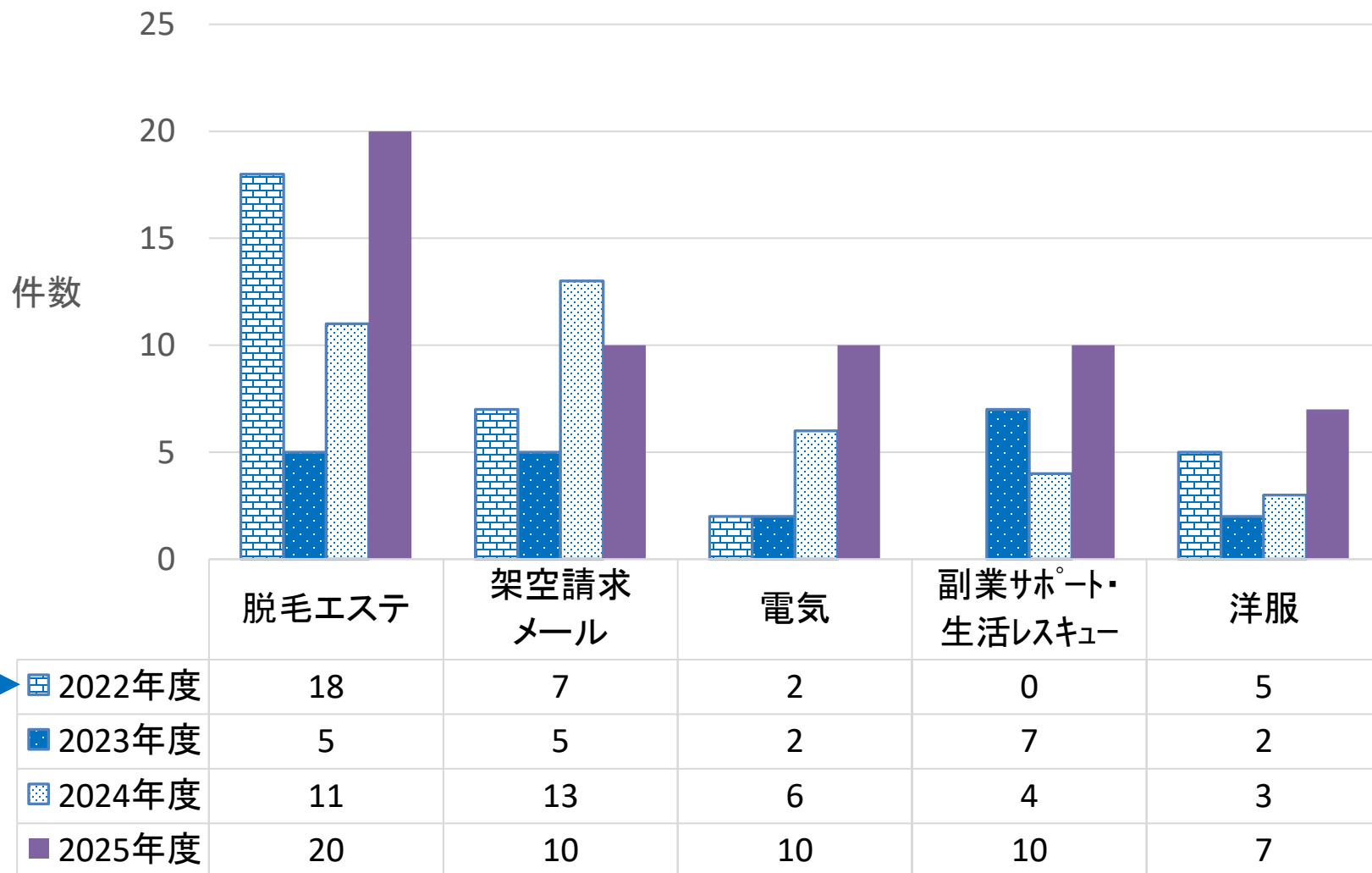
年度別（2025年度を基準）

高校生の相談が多い商品・サービス上位5



高校生を除く18歳19歳の相談の傾向

年度別(2025年度を基準) 高校生を除く
18歳・19歳の相談の相談件数上位5位



成年年齢引下げ

若者の相談の特徴は「美」と「金」

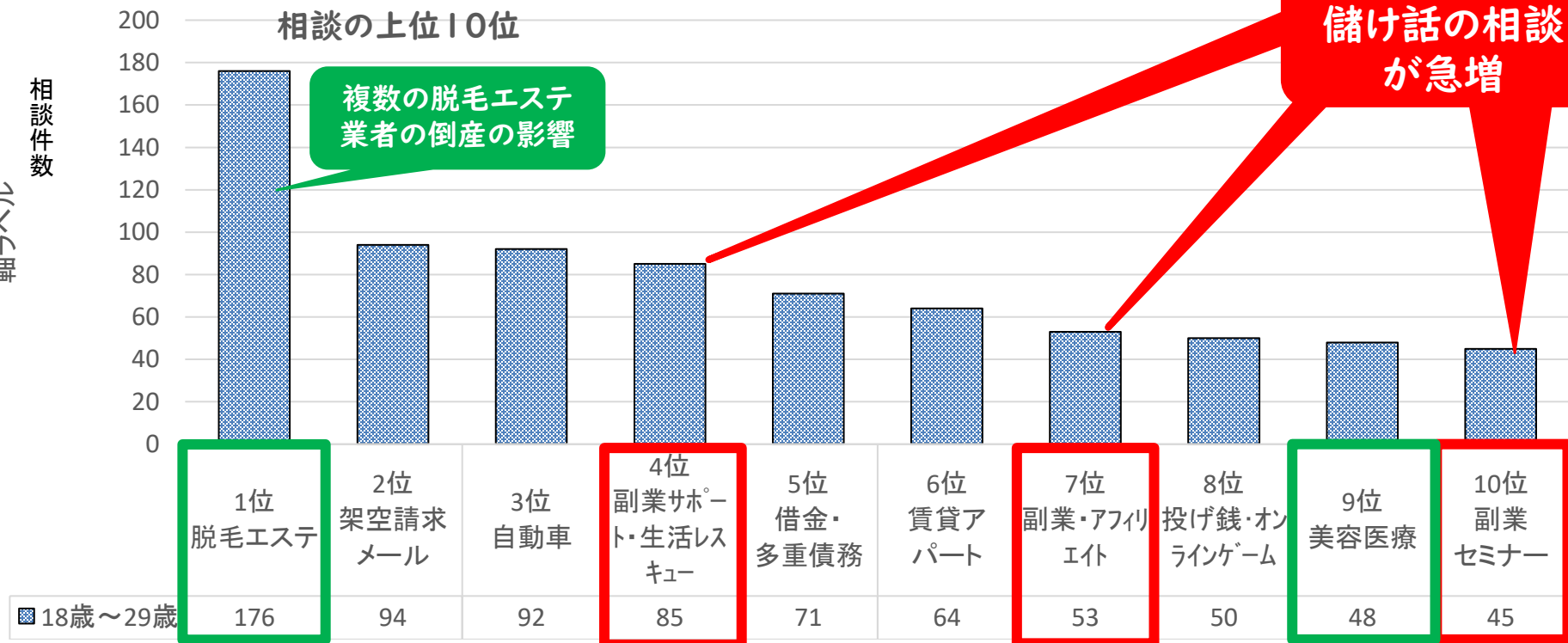
群馬県内の2025年度成人後の若者(18歳~29歳)の

相談の上位10位

相談件数
単位:1000

複数の脱毛エステ
業者の倒産の影響

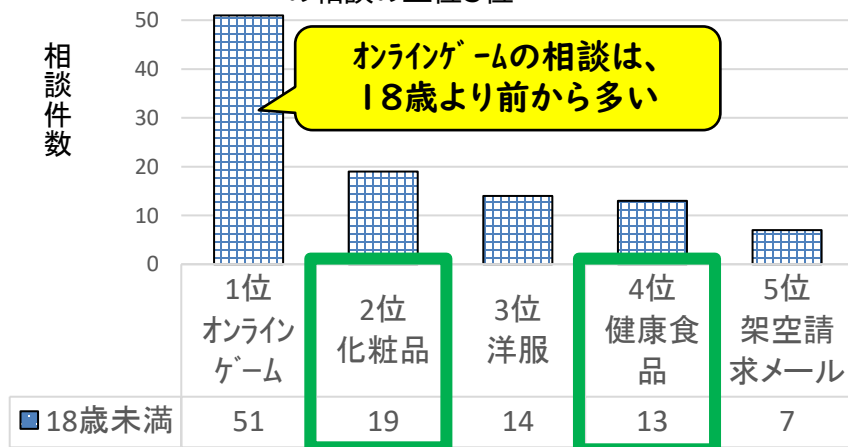
18歳になると、
儲け話の相談
が急増



※比較:2025年度未成年者(18歳未満)の相談の上位5位

相談件数

オンラインゲームの相談は、
18歳より前から多い

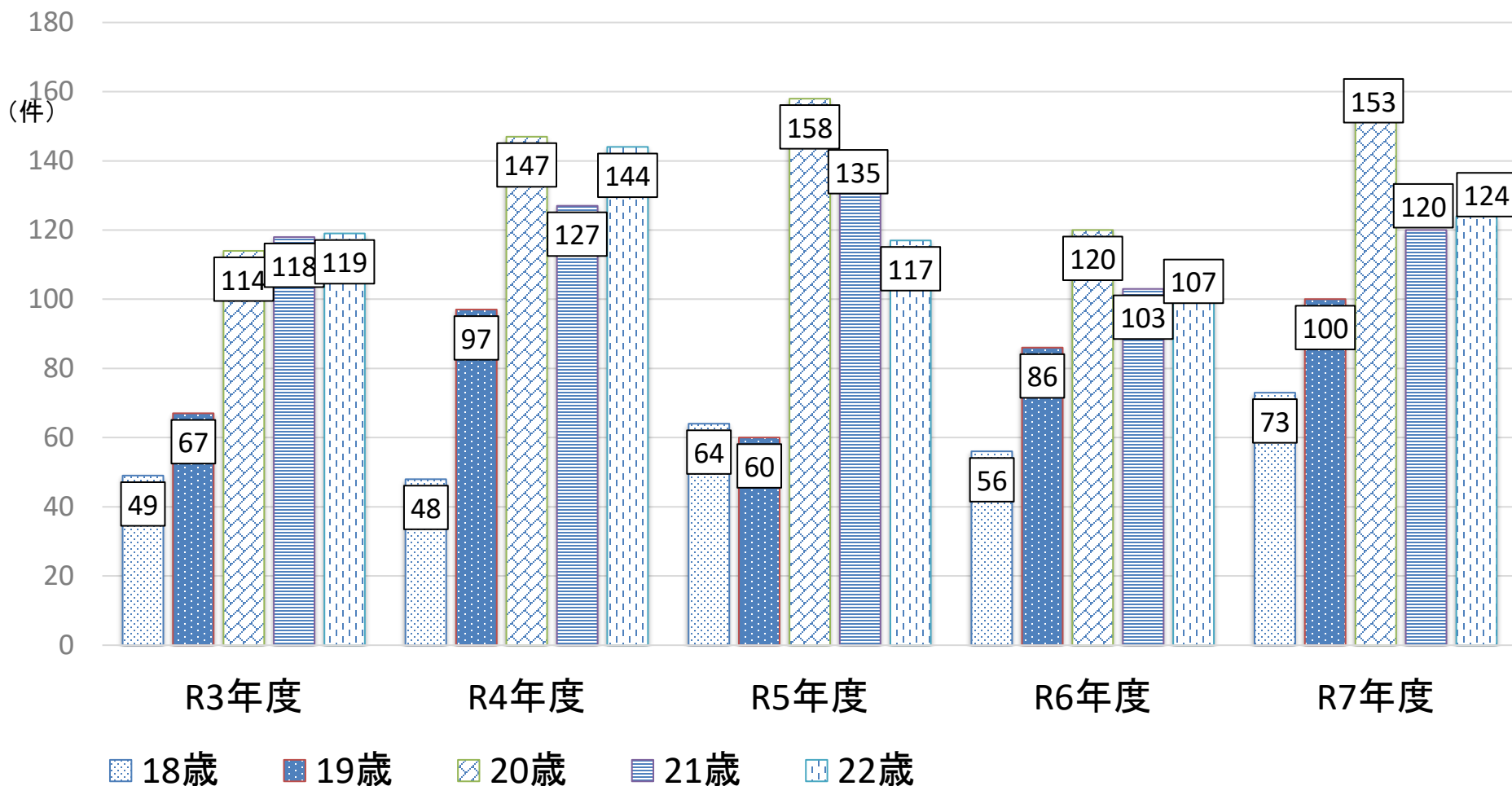


※参考:2025年度18歳19歳の相談上位5位

相談件数

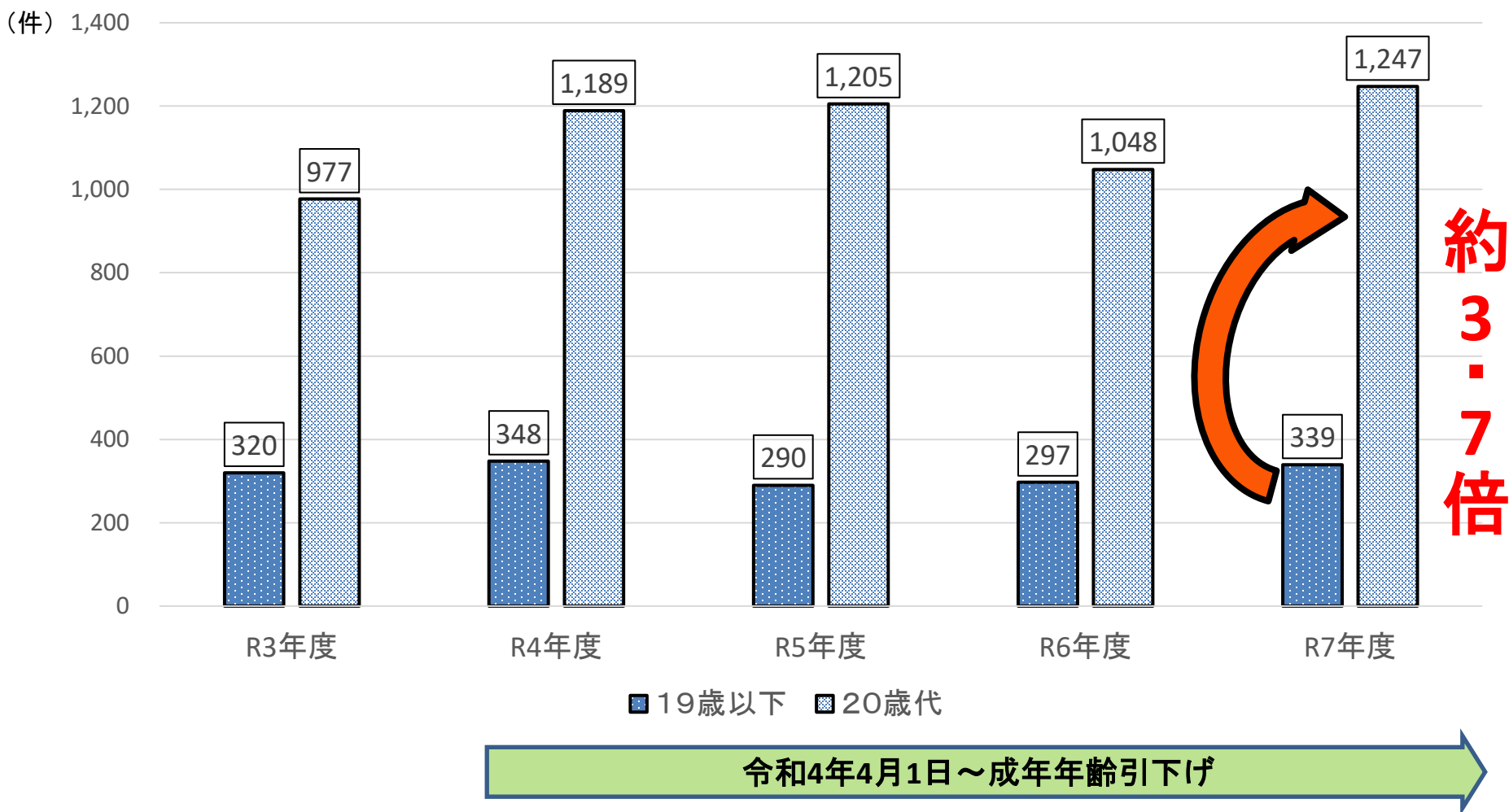


若者の相談の傾向



(注) 群馬県内の消費生活センターへの相談件数。「20歳」は20代との申し出を含む場合がある。

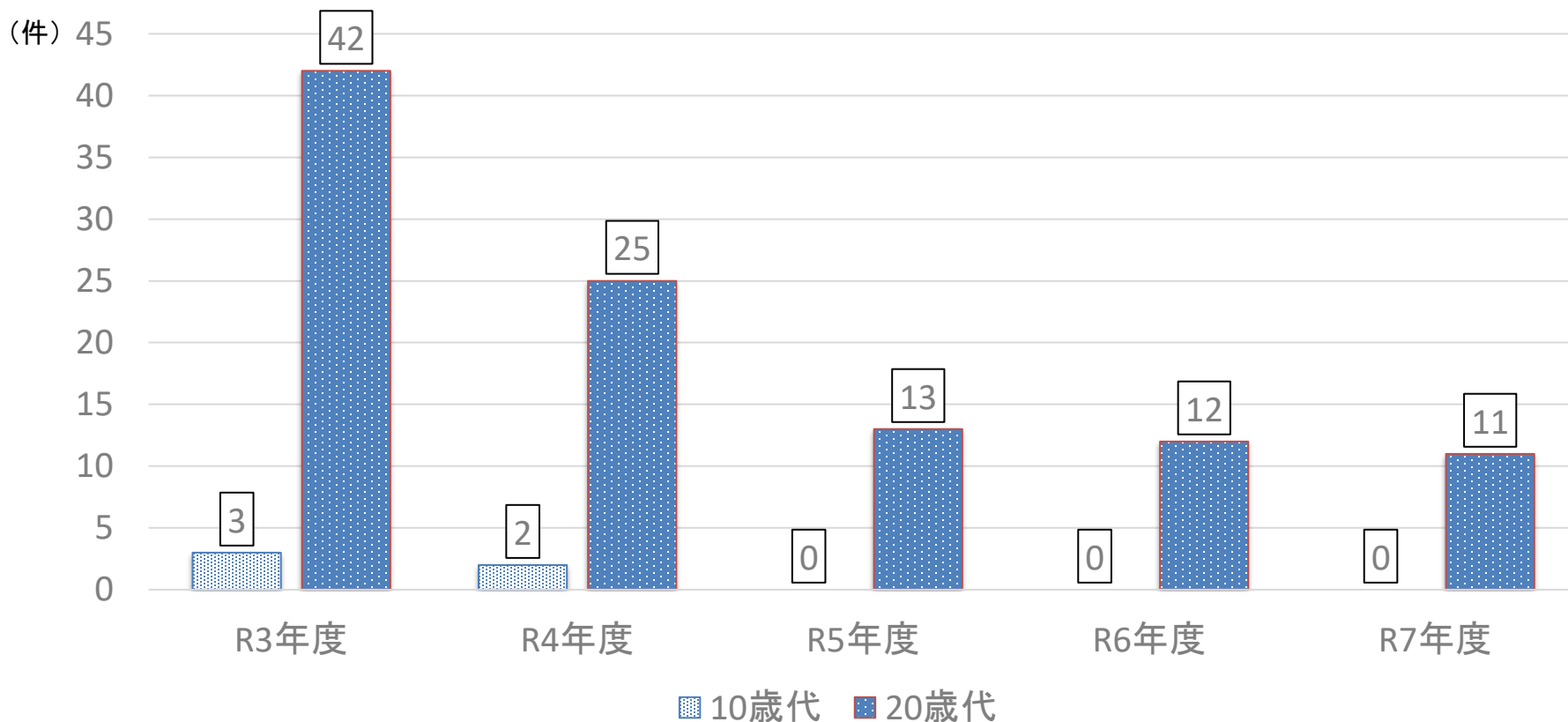
若者の相談件数 ～20歳前後の比較～



20歳を境に相談が急増する傾向に変化はなかった

20歳を境に急増するマルチ商法 10歳代と20歳代の相談件数の比較

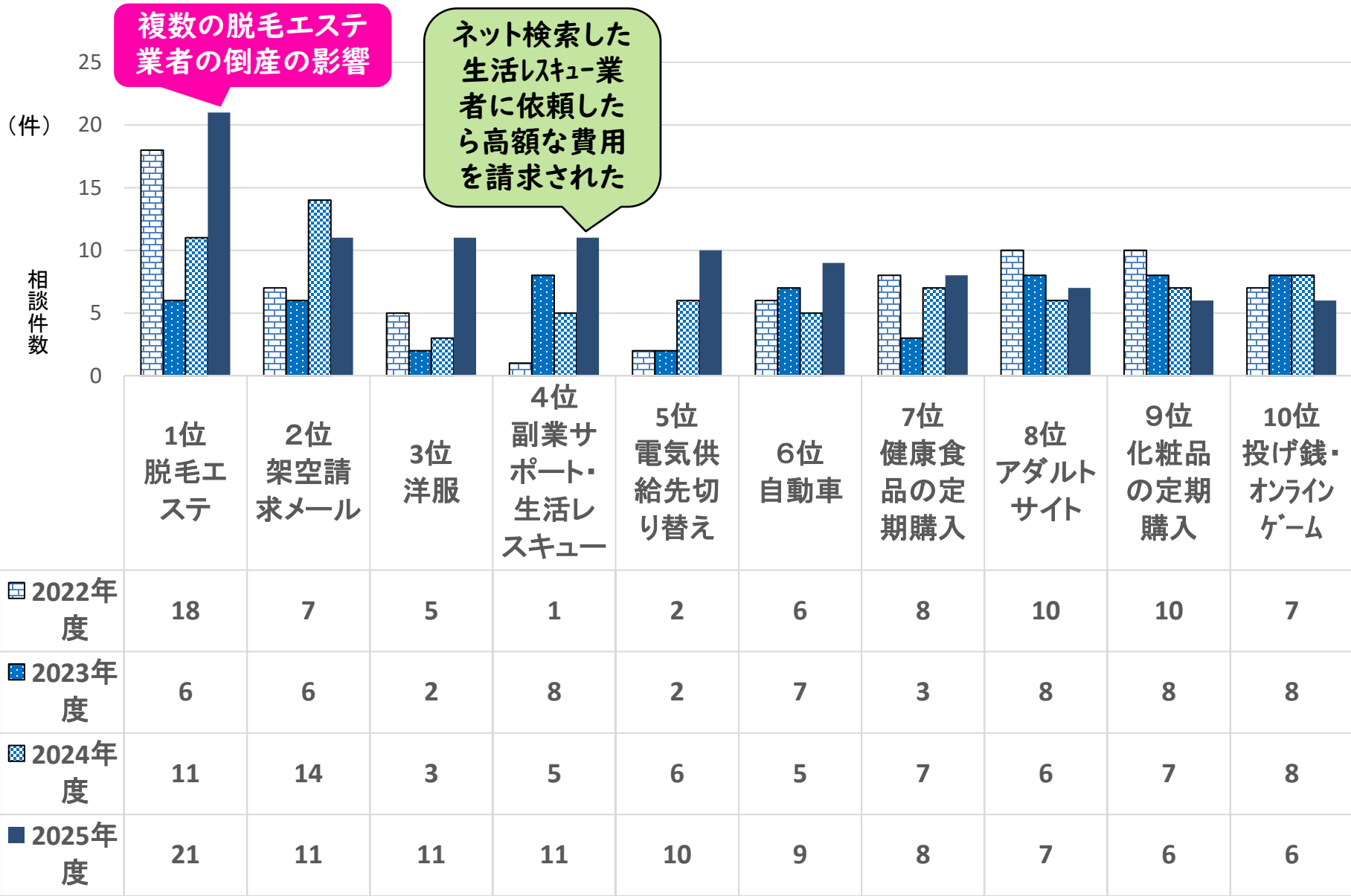
若者（30歳未満）のマルチ・マルチまがいの相談件数



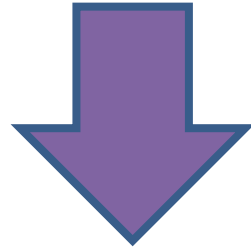
令和4年4月1日～成年年齢引下げ

成年年齢引下げ前後の18歳19歳の相談の比較

2025年度を基準に18歳19歳の相談上位10位まで件数を2年前からの件数と比較



未成年者と成人後の若者の 相談件数を比べると…



- マルチ商法や借金の相談は20歳を境に急増している。
- もうけ話の相談が急増。
- 18歳・19歳はクレジットカードやローン契約ができるようになったため、エステサービスの契約ができるようになった。

【解説】

2 群馬県内の消費生活相談の概要

①2頁 「年度別相談件数の推移」

群馬県内の消費生活センターに寄せられた相談件数の推移です。群馬県では、県が運営する群馬県消費生活センターと市町郡が運営する19の消費生活センターにおいて、住民からの消費生活相談を受けています。消費生活相談は、住民サービスとして行われているものです。お住まいの地域の消費生活センターへ相談しましょう。

②5頁 「高校生の相談傾向」

高校生の相談では通信販売で契約した化粧品・健康食品の定期購入、オンラインゲームの相談が多いです。

③6頁 「高校生を除く18歳・19歳の相談傾向」

高校生を除く18歳19歳の相談では、成年年齢引下げに伴い、脱毛エステなど、ローンを組んだ高額な契約が増加しています。高校生でいる間は、契約は保護者の元で行われることが多く消費者トラブルに遭う機会が抑えられているが、卒業し、社会人・大学生・専門学校生などになり、一人暮らしを始めて、自己の判断で契約する機会が増えることで、生活レスキューなどの相談件数が増加したと予想されます。

④7頁「若者の相談の傾向（18歳前後の比較）」

若者(30歳未満)を18歳未満と18歳以上に分けて、比較しています。

令和7年度は、複数の脱毛エステ業者が倒産した影響で、エステに関する相談が多いです。

オンラインゲームなどの相談は、未成年からも多く寄せられています。

成人すると、自分一人で借金が出来ようになりますが、これまでのところ、成年年齢引下げ後の18歳・19歳では借金に関する相談の増加が見られません。(11頁18歳19歳の相談の比較を参照)

4位の「副業サポート・生活レスキュー」とは「役務その他」に分類された相談です。7位「副業・アフィリエイト」、10位の「副業セミナー」ともに、実態のない「嘘のもうけ話」の相談で、SNS上で勧誘を受けたとの相談が多い。借金をさせて、副業のサポートの費用を個人名義の口座に振り込ませた場合、被害回復が難しいです。

⑤8頁「若者の相談の傾向」と 9頁「若者の相談件数、20歳前後の比較」

18歳～22歳までの相談件数の推移と、19歳以下と20歳代の相談件数の比較をみると、20歳を境に、相談件数が急増する傾向は、成年年齢引き下げ後も大きな変化がないことが分かりました。

⑥10頁 「マルチ・マルチまがい」

特定商取引法で規制される連鎖販売取引を「マルチ商法」、連鎖販売取引に当たらない類似商法を「マルチまがい(後出しマルチなど)」と呼んでいます。後出しマルチは、商品・サービスを契約する際にではなく、契約した後に紹介料などの報酬が得られると勧誘を行うことで特定商取引法の規制を逃れようとするものですが、そのシステムはマルチ商法と本質的な差異はありません。若者の間では、健康食品や化粧品など「モノ(物)」を媒介したマルチ商法よりも、FXや暗号資産の自動売買ツールや副業の情報商材など「モノなし」のマルチ商法による消費者被害が増えています。マルチ商法については本教材「9 相談事例④ マルチ商法」を参照してください。

⑦11頁 「成年年齢引下げ前後の18歳・19歳の相談の比較」

美容に関する相談の「エステ」や「美容医療」の相談が多いです。

参考に消費者白書の「若者の消費生活相談の商品・サービス別上位件数(年齢区分別・2025)」を掲載しました。

⑦11頁 「生活レスキュー」

4位「副業サポート・生活レスキュー」は「役務その他」に分類されたものです。生活レスキューの中で、若者の相談に多いのは、ロードサービスの相談です。ロードサービスの相談は、「運転して出かけた先で、バッテリーが上がってしまった。脱輪した。タイヤがバーストしたなどで、インターネットで検索したロードサービス業者に依頼したところ、事前に説明のなかった高額な費用を請求された」等の相談です。18歳以上の若者は自動車のトラブルに慣れておらず、慌ててインターネットで検索し、ロードサービス業者に依頼し、トラブルに巻き込まれたと考えられます。サイト等の表示や電話で説明された料金を鵜呑みにしてはいけません。自動車の故障等が生じた場合は、まずは契約している損害保険会社や保険代理店に問い合わせる必要があります。生活レスキューの相談については、「17 相談事例⑧一人暮らしのトラブル」を参照してください。

図表 I-1-3-11 若者の消費生活相談の商品・サービス別上位件数（年齢区分別・2025年）

男性						女性					
15-19歳			20-29歳			15-19歳			20-29歳		
順位	商品・サービス	件数	順位	商品・サービス	件数	順位	商品・サービス	件数	順位	商品・サービス	件数
	総件数	7,090		総件数	38,504		総件数	7,388		総件数	48,579
1	インターネットゲーム	624	1	賃貸アパート	4,106	1	脱毛エステ	667	1	脱毛エステ	5,503
2	商品一般	542	2	商品一般	2,660	2	他の健康食品	600	2	賃貸アパート	4,033
3	他の健康食品	305	3	フリーローン・サラ金	1,721	3	商品一般	516	3	商品一般	2,606
4	乳液	234	4	役務その他サービス	1,657	4	医療サービス	337	4	医療サービス	2,574
5	賃貸アパート	213	5	普通・小型自動車	1,192	5	乳液	244	5	他の内職・副業	2,399
6	役務その他サービス	193	6	他の内職・副業	1,183	6	賃貸アパート	163	6	役務その他サービス	1,794
7	電気	179	7	修理サービス	912	7	役務その他サービス	158	7	フリーローン・サラ金	1,024
8	アダルト情報	155	8	電気	880	8	インターネットゲーム	147	8	電気	837
9	携帯電話サービス	146	9	医療サービス	871	9	電気	146	9	スポーツ・健康教室	706
10	修理サービス	141	10	外食	759	10	他の内職・副業	129	10	修理サービス	685

オレンジ色 娯楽に関するもの

ピンク色 美容・健康に関するもの

黄緑色 暮らしに関するもの

青色 金融に関するもの

紫色 内職・副業に関するもの

（備考）1. PIO-NETに登録された消費生活相談情報（2026年3月31日までの登録分）。

2. 品目は商品キーワード（下位）。

3. 色分けは相談内容の傾向を消費者庁で分類したもの。